

広報と栗東のあゆみ

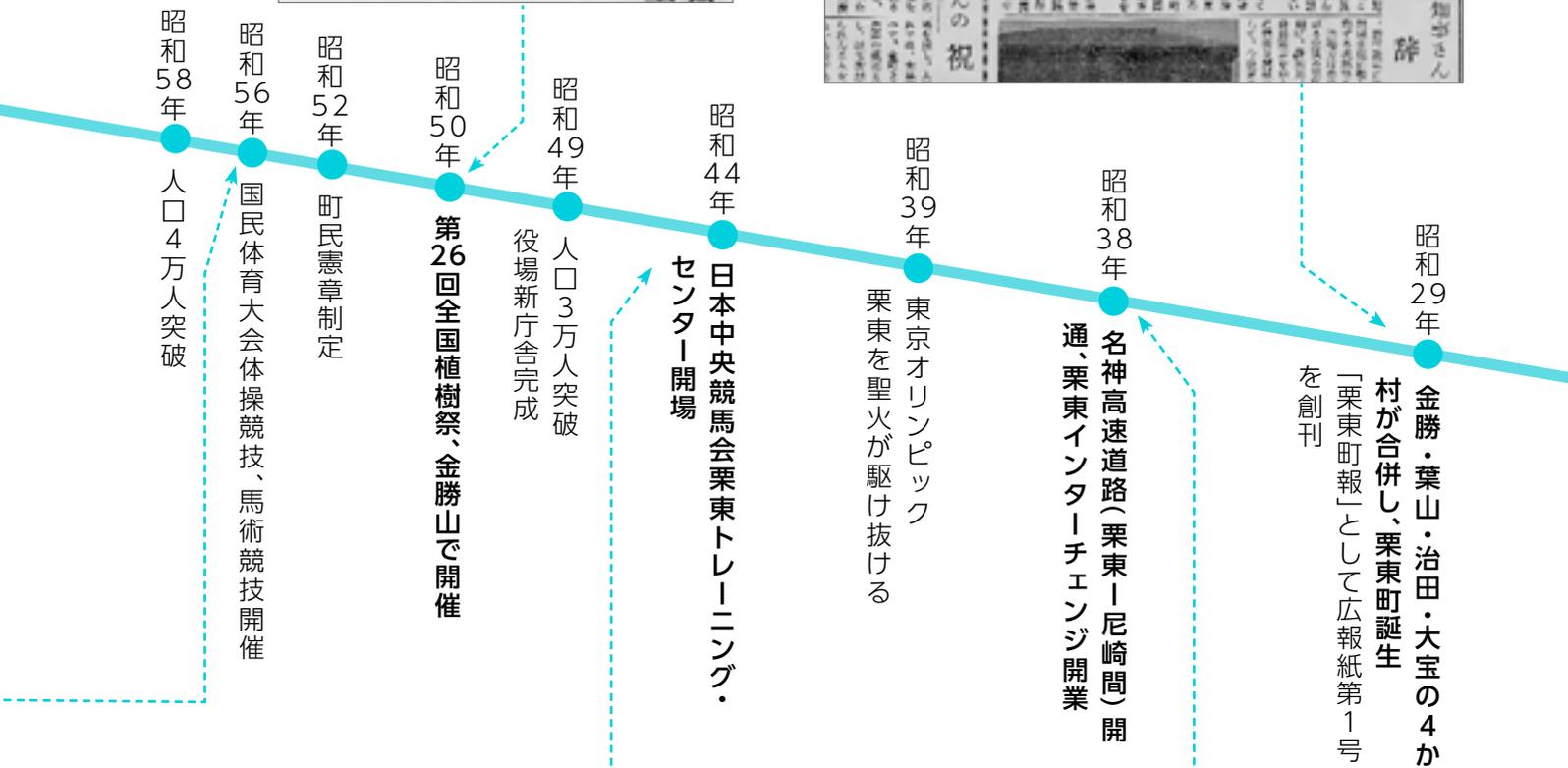
昭和29年に創刊されて以来、広報りっとうは今月号で1000号を迎えました。
年表と当時の広報紙の記事や表紙から、これまでの歴史と広報りっとうの歩みを振り返ります。



▶昭和29年10月25日号「栗東町報」
(現在の「広報りっとう」創刊号)



▶昭和50年
6月16日号、
5月25日号
表紙第26回
全国植樹祭



▶昭和38年8月25日号
名神高速道路建設の様子



▶昭和44年2月1日号
栗東トレーニングセンター工事の様子

▶平成24年7月1日号掲載
手原駅に栗東観光案内所オープン



▶平成13年8月1日号表紙



▶平成3年6月1日号表紙
マスコットキャラクター決定の記事



令和3年 ● 東京2020オリンピック聖火リレー
市制施行20周年

令和1年 ● 人口7万人突破

平成30年 ● 広報紙をリニューアル。「広報りっとう」から「うまさぎる栗東」に

平成29年 ● 栗東市危機管理センター竣工

平成27年 ● YouTube「りっとうチャンネル」を開設

平成26年 ● 市公式Facebookの運用開始

平成25年 ● 台風第18号 市内に甚大な被害

平成24年 ● 手原駅に栗東観光案内所オープン
くりちゃん市のマスコットキャラクターに決定

平成16年 ● 人口6万人突破

平成13年 ● 市制施行10月1日
人口57016人 19657世帯

平成8年 ● 人口5万人突破

平成3年 ● JR琵琶湖線(東海道本線)栗東駅開業
生涯学習のまちづくりマスコットキャラクター決定
くりちゃん初登場

▶令和3年10月1日号表紙
木村敬一選手金メダル獲得



▶令和3年7月1日号表紙
特集 東京2020
オリンピック聖火リレー



▶平成25年10月1日号表紙



▶昭和56年10月1日号表紙
びわこ国体



広報紙以外でも情報発信中!

広報りっとうは紙媒体だけでなく、スマホやパソコンから読むことができるデジタル版もあります。また、本市の魅力を発信しているFacebookやYouTubeチャンネルもぜひご覧ください!



マチイロ



YouTube



Facebook

声と点字で伝える広報

広報りっとう、議会だより、栗東ふくしの3広報紙を、社会福祉協議会、市内のボランティアグループと連携して、点訳や音訳での発行もしています。障がいがある人にも、伝わる広報を届けたい。そんな思いから、活動されているボランティア団体を紹介します。

栗東音訳グループ たんぽぽ

声で届ける情報とめくもり
視覚障がいのある人にまちの情報を届けたい

メンバー自らが毎月、担当を決めて読み上げ、パソコンで編集し、CDに収録しています。文字だけでなく、表やグラフの数字なども文章化し、音声訳しています。正確にわかりやすく伝えることはもちろん、聞く人がイメージしやすいように、写真の説明など意見を交わしながら、聞き手のことを考え、工夫して読んでいます。

プロフィール

平成元年に結成。メンバーは現在11人。視覚障がい者の生活に必要な情報をCDに録音。対面音訳、リクエスト本、蔵書のデジタイズなど図書館を拠点に活動しています。



声の広報の音声は、
ホームページから
聞くことができます

ダビングボランティア さくら

心をこめてダビングしています



栗東音訳グループたんぽぽが録音したCDをダビングし、ボランティアセンターに届けています。ダビングしたものは、図書館にも置いてあります。

プロフィール

平成26年に結成。音訳グループが録音したCDを利用者の人数分ダビングしています。



社会福祉法人 栗東市社会福祉協議会
ボランティア市民活動センター
利用者へお届けしています

ボランティアグループが作成した音訳CDや点字広報紙を、ボランティア市民活動センターが利用者の一人ひとり毎月上旬に届くように発送しています。



点訳グループ つくし

読む人に寄り添った伝わる広報を

視覚に障がいがある人に少しでも情報を伝えられたらとの思いで活動をしています。読む人が悩まないように、普段聞きなれている言葉でも、辞書で調べて正確に訳しています。読者に伝わりやすいように、情報の順番などを考えながら、わかりやすく、ていねいな点訳を心がけています。

プロフィール

昭和61年に結成し、メンバーは現在9人。広報りっとう、議会だより、栗東ふくしのほか、個人の依頼本の点訳・製本、月に一度の勉強会を兼ねた例会を開催しています。

▶点字印刷は1冊30分かかり、厚さは3cmにもなります。障がい福祉課に見本がありますので、ぜひご覧ください。



まちの新鮮な情報を届ける

公益社団法人 栗東市シルバー人材センター



公益社団法人 栗東市シルバー人材センターの皆さん

広報紙が 皆さんに届くまで

市の広報紙は、シルバー人材センターに配送業務を委託しています。印刷工場から大きなトラックで届けられた広報紙を、各地域や自治会に分別しながら、シルバー人材センターの皆さんと職員がトラックから降ろします。その後、担当地域別の配送車に積み込みます。広報紙だけでなく、施設だよりや機関紙など数種類におよぶ月もあります。2人1組の息のあったコンビで工夫しながら作業し、市内124の自治会や各施設に配送され、自治会などを通じて各家庭に届けられます。

毎月の広報紙が皆さんの手元に届けられる背景には、シルバー人材センターの皆さんの細やかで心強い支えがあります。



▲本号から1台増の6台の配送車でコミセンや自治会へ配布します



▲地区に間違いがないか、入念にチェックします



▲地区別に束ねられた広報紙をトラックからおろします



▲息ピッタリの連携で積み込みを行います

市民の皆さんが毎月楽しみにされている広報紙を、誤配送がないように、雨の日も綺麗な状態でお届けできるよう、各自治会へ大切に届けています。毎月配布していると、地域の人のつながりも増え、新しい住宅地や季節の風景を感じることができ、これも楽しみの一つです。これからも健康を維持しながら、市民の皆さんに旬の情報を届けていきます。



公益社団法人
栗東市シルバー人材センター
富岡 昭十七 さん